



新年のごあいさつ



令和最初の新年を迎えることができました。
皆様、新年あけましておめでとうございます。

それぞれの学校で、児童・生徒の生き生きとした笑顔があふれる新年を迎えられていることと思います。子どもたちは、おいしい給食をいただきながら友達と楽しく語りあい、一人一人が輝いた学校生活が始まったのではないのでしょうか。まさに、令和の時代を担っていく子どもたちで、その姿に未来を感じます。

熊本県学校給食会は、これまで安全安心な食材を供給することを重要な役割とし、熊本の学校給食の充実発展や食育の推進をとおして、熊本の児童・生徒の心身の健全な育成に寄与できるよう努めてまいりました。新年を迎えるにあたり改めて役割の重要性と責任の大きさを感じています。

さて、熊本地震により被害にあっていた給食会の倉庫が一部を除き完成し稼働しています。蒲島知事が、熊本地震からの創造的復興を目指されています。熊本県学校給食会におきましても、これまで以上に安全安心な食材をお届けすることにより将来の熊本の子どもの心身の健全育成に寄与できる倉庫建設を目指しました。冷凍・冷蔵庫はもとより、常温倉庫も真夏の暑さに対応できるとともに、精米等は別の温度管理ができるよう物資に応じた適正管理を行うことができるドックシェルター方式を取り入れました。また、外気ができるだけ侵入しないよう空調設備にも工夫をしています。日本一の学校給食用倉庫ができたと自負しています。この倉庫から、これまで以上に安全安心な食材の提供を将来の熊本の子どものたちにも届けられるように努めていきたいと、職員一同決意を新たにしています。

今年も「子どもたちのために日々の努力を」をモットーに、5S「整理、整頓、清潔、清掃、躰（挨拶）」+S（誠意）→S（信頼）を基盤に据え、安全安心かつ低廉な価格で物資の提供並びに様々な事業の展開をとおし、積極的に食育推進の支援に取り組んでまいります。皆様方の一層のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



本年もよろしく お願いします

職員一同



熊本県学校給食共同調理場会連絡協議会 令和元年度県外研修報告

熊本県学校給食共同調理場会連絡協議会では例年、県外研修を行っています。本年度は7月の大雨のため、11月に延期しての実施となりました。共同調理場、給食センターの所長様を対象に11月25日（月）～26日（火）の2日間、長崎県へ行ってまいりました。

1日目は、株式会社ニチレイフーズ様の長崎工場（右写真）を視察させていただきました。工場では、全国各工場の説明や、長崎工場の生産商品について説明していただいたあと、工場の生産ラインを見学させていただきました。食品にとっても安心感を持つことができる、徹底した衛生管理、こだわり、工夫を見せていただくことができました。

2日目は大村市中学校給食センターを視察させていただきました。この大村市中学校給食センターは大村市小学校給食センターと併設されており、それぞれの概要を以下の表にまとめました。



	大村市小学校給食センター	大村市中学校給食センター
敷地／建設面積	約9,000㎡／約3,425㎡	約6,300㎡／約2,395㎡
学校／児童生徒数	市内15小学校（6,261名）、3幼稚園（82名）	市内6中学校（生徒2,931名、教職員207名）
提供食数	約6,900食／日	約3,200食／日
特色	2献立、パススルー式、米飯施設、ドライ方式、太陽光発電等	1献立、ノロウイルス対策用洗浄室、小学校給食センターとの一体運用等



倉庫棟建設工事進捗状況

本会の倉庫棟建設工事進捗状況です。昨年11月16日に常温倉庫の引っ越しを行い、現在は全て新倉庫から商品の配送を行っています。玄関の改装、駐車場の移設等今しばらく工事が続く予定です。ご迷惑をおかけしますが、来会の際は迂回をお願いいたします。



～編集後記～

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、残り3ヶ月を切りました。この3ヶ月間は今年度のまとめや、次年度の準備と慌ただしい中、給食現場ではお正月、節分、ひな祭り、卒業式と行事食が盛りだくさんなシーズンと思われます。本会も全力でバックアップしてまいりますのでよろしくお願いいたします。本会ではご意見、ご感想や食に関する取組等の情報をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。

